

お年寄りや障がい者にやさしい市政の実現を 交通手段の確保は、みんなの願い

「バス停まで歩くのも大変なので助かります」

雲仙市・島原市・南島原市などで タクシー券を支給

山崎議員にはお年寄りなどから「バス停まで歩くのも大変。買い物や病院にタクシーを利用して、いるが負担が大きい」という声が寄せられています。

タクシー券を支給する自治体が増え、県内では雲仙市・島原市・南島原市が支給しています。

雲仙市は70歳以上の人が対象で、一人に年間60枚を支給し、タクシー代の30%までを補助、1回当たりの上限は500円です。

一人当たり最高で年間3万円の補助です。5割くらいの人が利用しています。

今年度の予算は2150万円です。島原市や南島原市でも



同様の制度があり、たい

へん喜ばれています。南島原市のタクシー券は今年度からバスでも利用できます。

平戸市には、福祉タクシー助成事業がありま

市民の声に耳を傾ける

こともなく、すすめられている情報センターの建設。

市は「維持管理費は年間5500万円、現在の離島センター（図書館と北部公民館）と比べて

す。車イスや知的障害、

視覚障害のみなさんが平戸市内のタクシー業者を利用する場合に初乗り料金500円の9割450円を助成する、という制度です。しかし、残念なことに、あまり利用されていません。

2011年度は44人が利用し、助成は合計で42万円です。今年度予算は52万円です。

山崎議員は「対象者をひろげるべきだ」と質問しましたが、答弁はありませんでした。

も大差ない」と説明して

います。2つの疑問があります。

①本や資料の購入費が含まれていません。市が計画策定委員会に招いた図書館専門家のみ

なさんは「図書館の機能を保つには本や資料は7年で買い換えるべきだ」という意見でした。

新図書館の蔵書は19万冊。7年で買い換えるには年27142冊の買い替えが必要です。市の購入費は平均して1冊1500円ですから、4070万円かかります。

合計で9570万円。維持管理費は毎年、およそ1億円ということになります。

②離島センターは老朽化し、耐震性もありません。「だから、もう使用できない。新しく建てる」というのが市の言い分です。

老朽化した建物は維持

管理費がかさみます。それと新築を比べて、「それほど増えない」と言われても、納得できません。

山崎議員は3月の議会でも「図書館や公民館は必要です。しかし、市民の中では田平支所などの既存の施設を活用すべき、という声が多数派。

市民の声に耳を傾けることもなく、どんどん事業をすすめることに反対。いったん事業をストップして市民の声に耳を傾けるべきだ」と主張しました。

※五島市では建設直前に市民の声を受け入れて、図書館建設を白紙に戻しました。

2つの疑問？

情報センター
(図書館と北部公民館)



4000万円で解体される離島センター



情報センター建設予定地 (レストハウス横)